堂ぐぁー屋敷ぬタンメー

天久サダ子（1912・T元）字波平（00：59）

くれーかいよ、昔(んかし)あぬー沖縄(うちなー)やあぬー唐(とう)ぬ国(くに)とぅる何(ぬー)んくい取(とぅ)い換(け)えそーたんち。なー、今日(ちゅー)ん明日(あちゃー)ん、なー唐(とう)からよ、唐(とう)の国(くに)からなー船(ふに)ぬ入(い)っち来(ちゅー)し、なー待(ま)ちかんてぃーさーにかい。

あぬ久茂地(くむじ)ぬ堂(どう)ぐぁーでぃぬ所(とぅくま)んき、あぬ神家(かみやー)ぐぁーぬ在(あ)てーるふーじ。あんさぐとぅ、ちゃータンメー達(たー)やうぬ登(ぬぶ)やーに、神家(かみやー)んかい登(ぬぶ)やーに、泊港(とぅまいんなとぅ)、今日来(ちゅーちゅー)がやー明日来(あちゃーちゅー)がやーんち見(んー)ちょーしが来(くー)んなたぐとぅ。

今度(くんど)ぉとーとーなー、あぬーちぶいかぎやーいや、あぬアタビーすぐいが行(ん)ぢゃんり。あんさーいまたうりにちきてぃん今(なま)、歌(うた)や。

堂(どう)ぐぁー屋敷(やしち)ぬタンメーさい
アタビーすぐいがめんそーらに
ぅンム二ー食(か)むぐとぅ先(さち)なとり
目糞拭(みーくすぬぐ)てぃ今来(なまちゅー)さ

とーうっさやさ。

【共通語訳】

これはね、昔、沖縄は唐の国といろんな交易をしていたそうだ。もう、唐の国から船が入って来るのを、今日か明日かと待ちかねていたようだ。

久茂地の堂ぐぁーという所に神家があったようで、タンメー達はいつも、その神家に登って、泊港の方を眺めて、今日は船が入って来るか、明日かなと見ていた。

けれども、なかなか船が来ないので、とうとうタンメーは着物の裾をたくしあげて、蛙を捕りに行ったそうだ。そんなタンメーのことを歌ったのがこれだよ。

堂ぐぁー屋敷のおじいさんよ
蛙を捕りに行きませんか
ぅンム二ーを食べるので先に行ってください
目やにを拭いてすぐに行くよ

はい、これだけだよ。